

「市長への手紙」HP掲載データ（令和4年11月分）

見出し	0411-4 避難道路の整備
ご意見	荒町地区から三船記念館へ向かう県道は大きな車が行き交っている。裏山に避難道路を整備してはどうか。
回答	<p>岩手県が3月29日に公表した津波浸水想定では、当市の中心部が広く浸水する想定が示されたところであります。また、9月20日には日本海溝を震源とする巨大地震及び大津波による被害想定も公表され、久慈市は県内市町村で最も大きな被害を受ける可能性があることが示されています。</p> <p>現在しでは、このシュミレーション結果を受け、津波避難場所の見直しや津波避難訓練の対象地区拡大、また久慈市総合防災ハザードマップの更新のほか、津波避難計画の策定にむけて鋭意取り組んでいるところであります。</p> <p>ご提言のあった、裏山への避難道路の整備につきましては、地権者からの了解や整備方法の検討などが必要になることから、早急な整備については困難でありますが、今後津波避難計画の策定などに併せ、避難方法の検討をしてまいります。</p> <p>大津波から命を守るためには、第一に高台への迅速な避難が重要であり、市としては避難を軸としたソフト対策を進める必要があるととらえております。今後におきましても、災害発生時に迅速な避難ができるよう、避難訓練や各種研修会を通して防災意識の醸成を図るとともに、自主防災組織の結成促進や防災士の養成など地域防災の向上に努めてまいります。</p>
担当課	消防防災課 電話：0194-52-2173